障害を報じる上で注意すべきことや、メディア が与えている 「誤解」 があると指摘します。 発達 とする昭和大医学部の岩波明教授は、メディア た。しかし発達障害の臨床研究などを研究分野 報道などにより発達障害の認知度は高まりまし 発達障害者支援法施行から10年以上がたち



野とする。 医学部卒、東大病院精神科、東京 神奈川県生まれ。85年、東京大学 都立松沢病院、埼玉医大精神科な

いわなみ・あきら 1959年

するシステムが必要だが、正し 登校になる子どももいる。 配慮 を見落とされ、いじめに遭い不

に求めることについて聞きました。 【聞き手・日本新聞協会労組・斎藤甫】 昭和大学医学部教授 の少年が精神鑑定により「アス 岩波 、ルガー症候群」と診断された を指す「総称」だが、単一の病 如多動性障害(ADHD)など クトラム障害(ASD)、注意欠 発達障害 わかりやすさの罠 職。精神疾患の認知機能、発達障 どをへて、88年、昭和大学医学部 害の臨床研究などを主な研究分 精神医学講座准教授、12年より現 が、空気が読めなければアスペ 少なくない。メディアに取り上 げられることは前向きに捉える どと決めつけられてしまってい ィアに発信してほしい。 機関が少ないことも含め、メデ レンジできる人が多い。 児童期 る。きちんとケアすれば再チャ くのは難しいのではないか」な で「将来社会人としてやってい ・成人期ともに対応できる医療 い知識が共有されていないこと

ことを契機にこの「病名」が世 間に広まった(しかし診断は誤

ーメディアが与えている誤解

第15回

起きた主婦殺人事件で、加害者 2000年に愛知県豊川市で

のセンセーショナルな報道で 診だった)。新聞、テレビなど が多い。ASDよりはるかに有 気があるように報道されること ルガー、片付けができなければ ADHD、といった具合に、伝

た。こうした誤解は解けてき 群」という見方ができてしまっ 報道で存在を無視されている。 民放局の取材で「発達障害につ

- 少年犯罪―アスペルガー症候

病率が高いADHDが、多くの

える上で単純化し過ぎていると

疾患について知ってもらいた

、取材に協力したいという人

他の精神疾患と比べ、自分の

ているものの、現在も多くの人

いて解説してほしい」と言われ、

すると「視聴者に分かりにくい ASDとADHDについて説明

-あまり報じられていない問

のでADHDについては触れな

候群を中心とする自閉症スペ

いでほしい」と頼まれることが

指導するシステムが学校にな

発達障害は、アスペルガー症

候群」と勘違いしている。 が「発達障害=アスペルガー症

期だ。疾患のある子どもを個別 ているが、より深刻なのは児童 成人期の発達障害が注目され

師に取材することも重要だ。 合などは注意が必要。家族や医

していたり、自傷行為がある場 が多い。ただし、うつ病を併発